

近代化遺産を町づくりの推進と文化振興に寄与

特定非営利活動法人 旧狩勝線を楽しむ会

【事業の目的】

私たち「旧狩勝線を楽しむ会」は、2003（平成15）年に新得町在住の有志により発足し、2005（平成17）年にNPO法人化を経て現在に至っています。

発足時には20名いた会員も今は8名となり、細々ながら高齢にも関わらず元気に活動しています。

発足時の目的は1907（明治40）年に道東と道央を結ぶ大動脈として完成した、根室本線旧狩勝線の歴史的な役割を学びながら、当時としては最高の技術を用いて造り上げたトンネル、橋、築堤等の近代化遺産の調査を進めることで町づくりの推進及び文化の振興に寄与するとあります。その目的に添って、現在の活動を紹介します。

【エコミュージアム活動】

狩勝高原園地（旧新内駅ホーム）に静態保存されている20系ブルートレイン3両を展示すると共に、そのうちの1両をインフォメーションセンターとして利用し、国鉄時代の鉄道備品及び旧狩勝線の現役時代と今の写真を展示しています。このコロナ禍では、2両の車両の窓が開放できない構造のため換気ができず、三密の観点から判断し、ここ2年間は開館を見合わせてきました。しかし開館を要望する多くの方の声を受け、2022（令和4）年、換気扇を取り付け、同年9月と10月に各2日間の限定によって予約制で開館しました。



インフォメーションセンター内の展示の様子

【トレイントラスト】

前述のインフォメーションセンターとして、20系ブルートレイン3両を新得町から貸与され、維持管理をしています。この20系客車はナロネ22-153、ナロネ21-551、ナハネ20-132です。これらの車両は1978（昭和53）年に廃車となり、狩勝高原SLホテルとして使われていた物です。特にナロネ22-153はプルマン（個室）付きで、国内では唯一現存する車両のため、鉄道ファンにとっても貴重な1両といえます。私たちはペンキ塗りを定期的実施していますが、北海道の過酷な風雪雨の環境下においては、腐食等の痛みが激しく手に負えない部分もあります。今年は本州からの賛助会員の応援を得て、車両内部通路の床張替え、という大工事を実施しました。さらに、窓枠のシーリングパテを取替え、換気扇の設置工事、それに伴う電気配線の敷設と今までに無い作業をしました。また腐食の原因が窓枠のパテ劣化であることが判明したことによって、対策を計画的にできるようになりました。

時が大分過ぎてしまいましたが、20年前にこの原因が分かっていたらとこの思いもあります。今後の作業は外部ではさらなる窓枠のパテ取替え、外装ペンキ塗り、内部ではハードボード壁の補修と手間の掛かる作業が今後の課題ですが、維持には欠かせない作業ですのでひとつひとつ実施の予定です。



車両通路床張替え

【フットパス】

旧狩勝線を構成する新得-落合間27kmのうち、狩勝峠を挟み新得側17kmの廃線跡がフットパスとなっ

ています。うち10kmは「ぼっぼの道」として新得町が整備しています。残りの7kmは林道として新得町が管理をしていますが、当会では産業観光課の散策路整備事業の一環として草刈り（クマ笹）の発注を受け実施しています。これはウエイトの高いもので、納期が6月15日から9月15日の3カ月に及び、会員の手により行われ、夏場の作業は重労働を極めるものです。この草刈りは、新得町側と南富良野町(落合)側を含めた廃線跡は20kmにも及ぶ範囲となります。このように草刈りを実施し新得側に付いては徒歩及び乗用車にて往時に思いをはせながら、散策できる環境を保っております。ぼっぼの道に関しては他の事業者が草刈りを実施しています。



フットパスの草刈り

【文化遺産に向けたサポート】

新得町教育委員会への文化財指定に向けたサポートを実施しています。

過去に、

- ・公益社団法人土木学会選奨土木遺産認定／2003（平成15）年
- ・経済産業省近代化遺産認定／2009（平成21）年



新内トンネル

- ・新得町指定文化財指定第4号旧狩勝線鉄道遺産群指定／2020（令和2）年

今年、

- ・特定非営利団体北海道遺産協議会新規北海道遺産応募／令和4（2022）年

これらのサポートは教育委員会及び視察団への現地案内、アクセス道の草刈り整備を行いました。

【トレイルランニング】

フットパスと関連しますが、廃線跡を走破するトレイルランニングも活動の一部です。

第8回大会までは当会主催開催でしたが、前回第9回大会からは地元のスポーツ団体に引継ぎ大会サポートとしての活動になります。コロナ禍で2年間の中止期間があったものの、第10回大会を2022（令和4）年9月11日（日）に参加者300余名により、21km（大カーブコース）、11km（バツタ塚コース）、4km（まりも橋コース）での開催をしました。



狩勝トレイルランニングスタート地点の様子

今後の課題として会員の若手へのバトンタッチを通して、旧狩勝線の物語を語り継いで欲しいと思っています。今、正会員は8名、平均年齢は66歳です。高齢化の問題はどの団体でも直面しているのではないのでしょうか。私たち旧狩勝線を楽しむ会では、皆さんの会員加入をお待ちしています。



特定非営利活動法人 旧狩勝線を楽しむ会
<http://www.karikachi.org/>